

道路監視設備保守点検業務 点検要領

熊本県道路公社

品名	遠方監視制御装置親局「ASA-2000」	設置場所	管理事務所通信機械室
----	----------------------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧測定	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル (-10dBm~-24dBm)	dB	
		受信レベル (0dBm~-43dBm)	dB		
3	システムの保存	外部媒体に現状のシステムを保存する。			
	動作状態の確認	装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。			
4	内部点検	端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。			
		パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。			
		プリント基板の緩み等の有無を確認する。			
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。			
		スイッチ等の機能を確認する。			
5	外部点検	冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。			
		汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。			
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。			
6	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備考】

品名	遠方監視制御装置子局「MICREX-SX」	設置場所	松島受変電棟
----	-----------------------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧測定	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御電圧	DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル (-10dBm~-24dBm)	dB	
			受信レベル (0dBm~-43dBm)	dB	
3	システムの保存	外部媒体に現状のシステムを保存する。			
	動作状態の確認	装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。			
4	内部点検	端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。			
		パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。			
		プリント基板の緩み等の有無を確認する。			
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。			
		スイッチ等の機能を確認する。			
5	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。			
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。			
6	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備考】

品名	処理装置(A卓)「GP52BL1J2」	設置場所	管理事務所
----	---------------------	------	-------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN含

No.	点検項目	確認箇所	判定	
1	機能確認	本体各部の動作テストを行う。	a)CPU	
			b)MEMORY	
			c)DISPLAY	
			d)KEYBOARD	
			e)MOUSE	
			f)HDD	
			g)FDD	
			h)CD-ROM	
			i)MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。		
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。		
		ServerViewにてエラーログを参照する。		
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
		スイッチ等の機能を確認する。		
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備考】

品名	処理装置(B卓)「GP52BL1J2」	設置場所	管理事務所
----	---------------------	------	-------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN含

No.	点検項目	確認箇所	判定	
1	機能確認	本体各部の動作テストを行う。	a)CPU	
			b)MEMORY	
			c)DISPLAY	
			d)KEYBOARD	
			e)MOUSE	
			f)HDD	
			g)FDD	
			h)CD-ROM	
			i)MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。		
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。		
		ServerViewにてエラーログを参照する。		
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
		スイッチ等の機能を確認する。		
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備考】

品名	無停電電源装置「UPS-650C」	設置場所	管理事務所通信機械室
----	-------------------	------	------------

No.	点検項目	確認方法又は測定値		判定
1	電源電圧測定	項目	規格	測定値
		充電電圧測定	DC432.4~441.2	V
2	機能確認	空調運転により周囲温度が24℃前後に保たれていることを確認する		
		直射日光が盤体に当たっていないか確認する。		
		無停電電源装置周囲に水漏れ箇所がないかを確認する		
		エアフィルタに埃が付着していないかを確認する。 ※付着があれば清掃を実施する。		
		排気部に埃が付着していないかを確認する。 ※付着があれば清掃を実施する。		
		錆、腐食の有無を確認する。		
		グラフィックパネルの操作機構部に異常がないか確認する。		
3	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備考】

バッテリー型式		製造年月	
室温		有効期限	

品名	無停電電源装置「M-UPS050J11L」	設置場所	松島受変電棟
----	-----------------------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	項目	規格	測定値	
1	電源電圧測定	出力電圧測定	DC90～110	V	
2	機能確認		空調運転により周囲温度が24℃前後に保たれていることを確認する		
			直射日光が盤体に当たっていないか確認する。		
			無停電電源装置周囲に水漏れ箇所がないかを確認する		
			エアフィルタに埃が付着していないかを確認する。 ※付着があれば清掃を実施する。		
			排気部に埃が付着していないかを確認する。 ※付着があれば清掃を実施する。		
			錆、腐食の有無を確認する。		
		グラフィックパネルの操作機構部に異常がないか確認する。			
3	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備考】

バッテリー型式		製造年月	
室温		有効期限	

品名	分電盤	設置場所	管理事務所通信機械室
----	-----	------	------------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	内部点検	端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。	
		パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。	
		プリント基板の緩み等の有無を確認する。	
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。	
2	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。	
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。	
3	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。	

【備考】

品名	分電盤	設置場所	松島受変電棟
----	-----	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	内部点検	端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。	
		パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。	
		プリント基板の緩み等の有無を確認する。	
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。	
2	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。	
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。	
3	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。	

【備考】

品名	主制御装置	設置場所	知十トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	主制御装置	設置場所	西目トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	主制御装置	設置場所	西の浦トンネル
----	-------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		
【備考】					

品名	副制御装置	設置場所	知十トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	副制御装置	設置場所	西目トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	副制御装置	設置場所	西の浦トンネル
----	-------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値	
		入力電圧	AC460V (414~506)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V				
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作	副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。		
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	知十トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	西目トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	表示警報板(主制御装置側)	設置場所	西の浦トンネル
----	---------------	------	---------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	西の浦トンネル
----	---------------	------	---------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	補助警報板(主制御装置側)	設置場所	知十トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	補助警報板(副制御装置側)	設置場所	知十トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	補助警報板(主制御装置側)	設置場所	西目トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	補助警報板(副制御装置側)	設置場所	西目トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。		
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。		
3	動作の確認	機側操作	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。		
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	押ボタン発信器	設置場所	トンネル内
----	---------	------	-------

No.	点検項目	確認方法又は測定値		判定	
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		別紙参照	
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値
	入力電圧測定	AC100V (90~100V)	別紙参照		
3	絶縁抵抗の確認	押ボタン回路の絶縁抵抗を確認する。			
4	フレキシガラスの破損等の確認	フレキシガラスの破損、変形、脱落等の有無を確認する。			
5	消火器の確認	消火器本体、安全栓、ホース等の外観を確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

押ボタン発信器 点検チェックシート

項目 地点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	備考
知十トンネル									
No. 1		√							
No. 2		√							
No. 3		√							
No. 4		√							
No. 5		√							
No. 6		√							
No. 7		√							
No. 8		√							
No. 9		√							
No. 10		√							
No. 11		√							
No. 12		√							
西目トンネル									
No. 13		√							
No. 14		√							
No. 15		√							
No. 16		√							
No. 17		√							
No. 18		√							
No. 19		√							
西の浦トンネル									
No. 20		√							
No. 21		√							
No. 22		√							
No. 23		√							
No. 24		√							
No. 25		√							

【備考】

品名	非常電話機	設置場所	トンネル内・明かり部
----	-------	------	------------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。	別紙参照
2	通話試験	発信音を確認する。	
3	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
4	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

非常電話 点検チェックシート(明かり部)

項目 地点	①	②	③	④	備考
知十IC～知十TN 明かり部					
上り10					
下り13					
西目TN～西の浦TN 明かり部					
上り4					
下り5					
西の浦TN～管理事務所 明かり部					
上り1					
下り1					
【備考】					

非常電話 点検チェックシート(トンネル)

項目 地点	①	②	③	④	備考
知十トンネル					
上り7					
上り8					
上り9					
下り9					
下り10					
下り11					
下り12					
西目トンネル					
上り5					
上り6					
下り6					
下り7					
下り8					
西の浦トンネル					
上り2					
上り3					
下り2					
下り3					
下り4					
【備考】					

品名	主制御装置	設置場所	管理事務所通信機械室
----	-------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
2	送受信信号出力の確認	送信レベル	-15dBm~0dBm		
			一般加入用	dBm	
			専用線用	dBm	
		受信レベル	-35dBm~0dBm		
			合津B1	dBm	
			知十B2	dBm	
			知十B3	dBm	
			合津C1	dBm	
		知十A	dBm		
3	動作試験	表示制御	表示機毎に表示制御を行い、操作機にて任意に設定した情報が表示機に表示され、その結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		消滅制御	表示機毎に消滅制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ(故障・表示異常・停電・話中)が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
4	停電動作の確認	表示板を停電にし、主制御装置からの表示制御の受信と復電後の表示項目が正常であることを確認する。			
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	合津B1
----	-------	------	------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V		
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V		
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V		
			AVR1	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
			AVR2	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
AVR3	DC 12V	(+11.40~+12.60)	V				
表示部電圧	DC 2.6V	(+2.47~+2.73)	V				
	DC 5.5V	(+5.23~+5.78)	V				
	DC 6.2V	(+5.89~+6.51)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V		
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V		
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。							
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	知十B1
----	-------	------	------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V		
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V		
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V		
			AVR1	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
			AVR2	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
AVR3	DC 12V	(+11.40~+12.60)	V				
表示部電圧	DC 2.6V	(+2.47~+2.73)	V				
	DC 5.5V	(+5.23~+5.78)	V				
	DC 6.2V	(+5.89~+6.51)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V	(+23.50~+26.40)	V	
			充電時	DC 27V	(+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。							
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	知十B2
----	-------	------	------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V		
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V		
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V		
			AVR1	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
			AVR2	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
AVR3	DC 12V	(+11.40~+12.60)	V				
表示部電圧	DC 2.6V	(+2.47~+2.73)	V				
	DC 5.5V	(+5.23~+5.78)	V				
	DC 6.2V	(+5.89~+6.51)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V		
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V		
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯) 停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	C型表示機	設置場所	合津C1
----	-------	------	------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V		
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V		
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V		
			AVR1	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
			AVR2	DC 24V	(+22.80~+25.20)		V
		AVR3	DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
表示部電圧	DC 2.6V	(+2.47~+2.73)	V				
	DC 5.5V	(+5.23~+5.78)	V				
	DC 6.2V	(+5.89~+6.51)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V		
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V		
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。							
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	A型表示機	設置場所	知十A1
----	-------	------	------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V	
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V	
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V	
			注意灯 ファン	DC 24V	(+22.80~+25.20)	V
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.14~+3.46)	V			
	DC 4.0V	(+3.80~+4.20)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)			
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。			
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)			
停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。						
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制制御盤	設置場所	管理事務所通信機械室
----	------------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
		伝送部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
		2	送受信信号出力の確認	送信レベル	-15dBm~0dBm
-24dBm~0dBm					
受信レベル	松島1-1			dBm	
	松島1-2			dBm	
	松島2-1			dBm	
	松島2-2			dBm	
3	ランプチェック	監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。			
4	動作試験	遠隔動作試験	各速度規制標識ブロックに対して、50K・70Kの制御及び監視ができることを確認する。 ※監視情報のみ個別		
		警報表示試験	各端末の(故障・異常・手元)状態が監視できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ(故障・表示異常・停電・話中)が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制操作盤	設置場所	上天草警察署内
----	------------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-24dBm~0dBm	
			松島管理事務所	dBm	
3	ランプチェック	監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。			
4	動作試験	遠隔動作試験	各速度規制標識ブロックに対して、50K・70Kの制御及び監視ができることを確認する。 ※監視情報のみ個別		
		警報表示試験	各端末の(故障・異常・手元)状態が監視できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ(故障・表示異常・停電・話中)が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制標識(境界用)	設置場所	松島1-1
----	----------------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC200V (180~220)	V	
		二次電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-24dBm~0dBm	
				松島管理事務所	dBm
3	ランプチェック	表示板を全点灯させ、素子切れの有無を確認する。 ※補助標識含む。			
4	動作試験	調光動作試験	調光切替えスイッチにて、夜間・昼間・自動の調光動作を確認する。		
		状態表示動作試験	状態表示モニターの点灯状況を確認する。		
		手元動作試験	手元にて規制項目を制御し動作を確認する。		
		遠隔動作試験	可変式速度規制制御盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
			可変式速度規制操作盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
警報動作試験	(故障・異常・手元)の状態を発生させ制御盤及び操作盤へ返送することを確認する。				
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制標識(中間用)	設置場所	松島1-2
----	----------------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC200V (180~220)	V	
		二次電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-24dBm~0dBm	
				松島管理事務所	dBm
3	ランプチェック	表示板を全点灯させ、素子切れの有無を確認する。			
4	動作試験	調光動作試験	調光切替えスイッチにて、夜間・昼間・自動の調光動作を確認する。		
		状態表示動作試験	状態表示モニターの点灯状況を確認する。		
		手元動作試験	手元にて規制項目を制御し動作を確認する。		
		遠隔動作試験	可変式速度規制制御盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
			可変式速度規制操作盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
警報動作試験	(故障・異常・手元)の状態を発生させ制御盤及び操作盤へ返送することを確認する。				
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制標識(中間用)	設置場所	松島2-1
----	----------------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC200V (180~220)	V	
		二次電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-24dBm~0dBm	
				松島管理事務所	dBm
3	ランプチェック	表示板を全点灯させ、素子切れの有無を確認する。 ※補助標識含む。			
4	動作試験	調光動作試験	調光切替えスイッチにて、夜間・昼間・自動の調光動作を確認する。		
		状態表示動作試験	状態表示モニターの点灯状況を確認する。		
		手元動作試験	手元にて規制項目を制御し動作を確認する。		
		遠隔動作試験	可変式速度規制制御盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
			可変式速度規制操作盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
警報動作試験	(故障・異常・手元)の状態を発生させ制御盤及び操作盤へ返送することを確認する。				
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	可変式速度規制標識(境界用)	設置場所	松島2-2
----	----------------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC200V (180~220)	V	
		二次電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-24dBm~0dBm	
				松島管理事務所	dBm
3	ランプチェック	表示板を全点灯させ、素子切れの有無を確認する。 ※補助標識含む。			
4	動作試験	調光動作試験	調光切替えスイッチにて、夜間・昼間・自動の調光動作を確認する。		
		状態表示動作試験	状態表示モニターの点灯状況を確認する。		
		手元動作試験	手元にて規制項目を制御し動作を確認する。		
		遠隔動作試験	可変式速度規制制御盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
			可変式速度規制操作盤にて規制項目を制御し動作を確認する。		
警報動作試験	(故障・異常・手元)の状態を発生させ制御盤及び操作盤へ返送することを確認する。				
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	気象観測処理設備	設置場所	松島受変電棟 駐車場
----	----------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		風向風速	・平均風速及び外部出力電圧を表示できること。 ・平均風向の16方位、角度及び外部出力電圧を表示できること。		
2	モニタ監視機能	最大風速	・最大風速及び外部出力電圧を表示できること。 ・平均風向の16方位、角度及び外部出力電圧を表示できること。		
		気温・路面温度	・気温、路面温度及び外部出力電圧を表示できること。		
		雨量	・日積算雨量を表示できること。		
		電圧	・内部回路電圧を表示できること。		
		瞬間値	・瞬間風速及び瞬間風向を表示できること。		
		3	構造部の確認	風向風速計	・風が弱い時、風車及び尾翼がスムーズに動いていること。
気温計	・通風用モータの異常音及び振動がないこと。				
路温計	・埋め込み場所の表面に物が無いこと。 ・アスファルトに破損がないこと。				
雨量計	・受水口、漏水器、転倒ます、軸受けにゴミがつかっていないこと。 ・雨水が漏尺下口から正しく点灯ますに入ること。				
4	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
5	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	地震計測装置	設置場所	管理事務所通信機械室
----	--------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		感震器供給電圧	DC 15V (+13.00~+17.00)	V	
			DC 15V (+13.00~+17.00)	V	
		バッテリー電圧	DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
2	動作確認	ランプチェック	表示部のシステムランプのみ点灯していること。		
		印字	過去の地震記録が印字できること。		
		動作試験	震感器を静かに揺すり、印字数値と表示部の数値が相違ないことを確認する。		
		停電動作	停電時、故障ランプが点灯し、時刻及び故障「0000」が印字されること。		
		復電動作	復電時、故障ランプが消灯し、時刻及び故障「0001」が印字されること。		
3	プリンター確認	記録紙への印刷が明瞭に読み取れること。			
		紙送りが正常に行われること。			
4	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
5	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	感震器	設置場所	管理事務所駐車場
----	-----	------	----------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	設置状況確認	Y方向が建屋長手方向に向いていること。	
		アンカーに水平に固定できていること。	
2	動作試験	感震器を静かに揺すり、地震計測装置へ震度データを送出すること。	
3	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
4	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	遠方監視制御装置親局「ASA-2000」	設置場所	管理事務所通信機械室
----	----------------------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧測定	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御電圧	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル (-10dBm~-24dBm)	dB	
			受信レベル (0dBm~-43dBm)	dB	
3	動作の確認	システムの保存	外部媒体に現状のシステムを保存する。		
		動作状態の確認	装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。		
4	内部点検		端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。		
			パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。		
			プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
			ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
			スイッチ等の機能を確認する。		
5	外部点検		汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
			接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
6	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備考】

品名	処理装置「GP52BL1J2」	設置場所	天草地域振興局3階
----	-----------------	------	-----------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN含

No.	点検項目	確認箇所	判定	
1	機能確認	本体各部の動作テストを行う。	a)CPU	
			b)MEMORY	
			c)DISPLAY	
			d)KEYBOARD	
			e)MOUSE	
			f)HDD	
			g)FDD	
			h)CD-ROM	
			i)MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。		
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。		
		ServerViewにてエラーログを参照する。		
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
		スイッチ等の機能を確認する。		
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備考】

品名	主制御装置	設置場所	有明トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100V (90~110)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V	
		表示電圧	PS2	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
				PS3	DC 16V (+15.20~+16.80)	V
DC 10V (+9.50~+10.5)	V					
PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)			V		
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V		
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。			
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	主制御装置(機側操作盤)	設置場所	有明トンネル
----	--------------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC100V (90~110)	V	
		非常電話電源	AC200V (180~220)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧			
		放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

--

品名	主制御装置	設置場所	須子トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100V (90~110)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V	
		表示電圧	PS2	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
				PS3	DC 16V (+15.20~+16.80)	V
PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)				V	
	蓄電池の確認			バッテリー電圧	放電時 充電時	DC 24V (+23.50~+26.40) DC 27V (+24.30~+29.70)
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
	通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。			
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	主制御装置(機側操作盤)	設置場所	須子トンネル
----	--------------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC100V (90~110)	V	
		非常電話電源	AC200V (180~220)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧			
		放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	機器の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

<p>【備考】</p>

品名	主制御装置	設置場所	米の山トンネル
----	-------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100V (90~110)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V	
		表示電圧	PS2	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
				PS3	DC 16V (+15.20~+16.80)	V
PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)				V	
	蓄電池の確認			バッテリー電圧	放電時 DC 24V (+21.60~+26.40) 充電時 DC 27V (+24.30~+29.70)	V V
4	動作の確認	機側操作	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
5	接続部の確認	通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
6	絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗を確認する。				
7	接地抵抗の確認	接地抵抗を確認する。				
8	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	機器の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	主制御装置(機側操作盤)	設置場所	米の山トンネル
----	--------------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC100V (90~110)	V	
		補助板電圧	AC200V (180~220)	V	
		非常電話電源	AC200V (180~220)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時 DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	副制御装置	設置場所	有明トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100V (90~110)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V	
		表示電圧	PS2	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
				PS3	DC 16V (+15.20~+16.80)	V
DC 10V (+9.50~+10.5)	V					
PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)			V		
	PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)	V			
3		蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
	充電時		DC 27V (+24.30~+29.70)	V		
4	動作の確認	機側操作		副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)		主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)		処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作		昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作		試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作		回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能		雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		通話試験		制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。			
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	副制御装置(機側操作盤)	設置場所	有明トンネル
----	--------------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC100V (90~110)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧			
		放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	副制御装置	設置場所	須子トンネル
----	-------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC100V (90~110)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+22.80~+25.20)	V	
		表示電圧	PS2	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
				PS3	DC 16V (+15.20~+16.80)	V
PS4	DC 10V (+9.50~+10.5)				V	
3				蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時 DC 24V (+21.60~+26.40) 充電時 DC 27V (+24.30~+29.70)
4	動作の確認	機側操作	副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(1)	主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御(2)	処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
		通話試験	制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。			
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品 名	副制御装置(機側操作盤)	設置場所	須子トンネル
-----	--------------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC100V (90~110)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧			
		放電時	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品名	副制御装置	設置場所	米の山トンネル
----	-------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格	測定値		
		入力電圧	AC415V (373~456)	V		
		制御電圧	PS1	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
				DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
				DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
				DC 24V(1F) (+11.40~+12.60)	V	
		表示電圧	AC100V (90~110)	V		
			AC100V (90~110)	V		
AC200V (180~220)	V					
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V	
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
4	動作の確認	機側操作		副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)		主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)		処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作		昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作		試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作		回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能		雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
通話試験		制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置(TMC1)間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。			
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			
【備考】						

品名	表示警報板(主制御装置側)	設置場所	有明トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	有明トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	表示警報板(主制御装置側)	設置場所	須子トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	須子トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	表示警報板(主制御装置側)	設置場所	米の山トンネル
----	---------------	------	---------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	表示警報板(副制御装置側)	設置場所	米の山トンネル
----	---------------	------	---------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	補助警報板(主制御装置側)	設置場所	有明トンネル
----	---------------	------	--------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	補助警報板(主制御装置側)	設置場所	米の山トンネル
----	---------------	------	---------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

品名	押ボタン発信器	設置場所	トンネル内
----	---------	------	-------

No.	点検項目	確認方法又は測定値		判定	
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		別紙参照	
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値
	入力電圧測定	AC100V (90~110)	別紙参照		
3	絶縁抵抗の確認	押ボタン回路の絶縁抵抗を確認する。			
4	フレキシガラスの破損等の確認	フレキシガラスの破損、変形、脱落等の有無を確認する。			
5	消火器の確認	消火器本体、安全栓、ホース等の外観を確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

押ボタン発信器 点検チェックシート

項目 地点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	備考
有明トンネル									
No. 1		v							
No. 2		v							
No. 3		v							
No. 4		v							
No. 5		v							
No. 6		v							
No. 7		v							
No. 8		v							
No. 9		v							
No. 10		v							
No. 11		v							
No. 12		v							
No. 13		v							
No. 14		v							
No. 15		v							
No. 16		v							
No. 17		v							
No. 18		v							
No. 19		v							
須子トンネル									
No. 20		v							
No. 21		v							
No. 22		v							
No. 23		v							
No. 24		v							
No. 25		v							
No. 26		v							
米の山トンネル									
No. 27		v							
No. 28		v							
No. 29		v							
No. 30		v							
No. 31		v							
No. 32		v							
No. 33		v							
【備考】									

品名	非常電話機	設置場所	トンネル内・明かり部
----	-------	------	------------

No.	点検項目	確認方法又は測定値	判定
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。	別紙参照
2	通話試験	発信音を確認する。	
3	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
4	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備考】

非常電話 点検チェックシート(明かり部)

項目 地点	①	②	③	④	備考
米の山IC～米の山TN 明かり部					
上り11					
下り14					
米の山TN～須子TN 明かり部					
上り15					
上り16					
上り17					
上り18					
上り19					
下り17					
下り18					
下り19					
下り20					
下り21					
明かり部 須子TN～有明TN					
上り23					
上り24					
下り24					
下り25					
明かり部 須子TN～有明TN					
上り30					
下り28					
【備考】					

非常電話 点検チェックシート(トンネル)

項目 地点	①	②	③	④	備考
米の山トンネル					
上り12					
上り13					
上り14					
下り15					
下り16					
須子トンネル					
上り20					
上り21					
上り22					
下り22					
下り23					
有明トンネル					
上り25					
上り26					
上り27					
上り28					
上り29					
下り26					
下り27					
【備考】					

品名	子局	設置場所	有明トンネル
----	----	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -24dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル -43dBm~0dBm	dBm	
3	動作状態の確認		監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。		
4	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	子局	設置場所	須子トンネル
----	----	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -24dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル -43dBm~0dBm	dBm	
3	動作状態の確認		監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。		
4	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	子局	設置場所	米の山トンネル
----	----	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御部電圧	DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
			DC 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -24dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル -43dBm~0dBm	dBm	
3	動作状態の確認		監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。		
4	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	無停電電源装置	設置場所	有明トンネル
----	---------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作状態の確認		装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。		
3	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	無停電電源装置	設置場所	須子トンネル
----	---------	------	--------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作状態の確認		装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。		
3	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	無停電電源装置	設置場所	米の山トンネル
----	---------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目		規格	測定値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作状態の確認		装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。		
3	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	主制御装置	設置場所	管理事務所通信機械室
----	-------	------	------------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
		制御電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V (-11.40~-12.60)	V	
2	送受信信号出力の確認	送信レベル	-15dBm~0dBm		
			一般加入用	dBm	
			専用線用	dBm	
		受信レベル	-35dBm~0dBm		
			上津浦B1	dBm	
			上津浦B2	dBm	
			米の山B1	dBm	
			米の山B2	dBm	
	米の山AD	dBm			
3	動作試験	表示制御	表示機毎に表示制御を行い、操作機にて任意に設定した情報が表示機に表示され、その結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		消滅制御	表示機毎に消滅制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ(故障・表示異常・停電・話中)が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
4	停電動作の確認	表示板を停電にし、主制御装置からの表示制御の受信と復電後の表示項目が正常であることを確認する。			
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	上津浦B1
----	-------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値	
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V	
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V	
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V	
			PS1	DC 24V	(+22.80~+25.20)	V
			PS2	DC 5V	(+4.75~+5.25)	V
PS3	DC 4V	(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.20~+3.39)	V			
	DC 4.0V	(+3.88~+4.12)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V	(+21.60~+26.40)	V
			充電時	DC 27V	(+24.30~+29.70)	V
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)			
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。			
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)			
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。			
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	上津浦B2
----	-------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V
				(90~110)	V
				(180~220)	V
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V
			PS1 DC 24V	(+22.80~+25.20)	V
			PS2 DC 5V	(+4.75~+5.25)	V
PS3 DC 4V	(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.20~+3.39)	V		
	DC 4.0V	(+3.88~+4.12)	V		
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル -35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時 DC 24V (+21.60~+26.40)	V	
			充電時 DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。		
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。		
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)		
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。		
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)		
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。		
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	米の山B1
----	-------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値	
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V	
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V	
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V	
			PS1	DC 24V	(+22.80~+25.20)	V
			PS2	DC 5V	(+4.75~+5.25)	V
PS3	DC 4V	(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.20~+3.39)	V			
	DC 4.0V	(+3.88~+4.12)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V	(+21.60~+26.40)	V
			充電時	DC 27V	(+24.30~+29.70)	V
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)			
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。			
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)			
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。			
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	B型表示機	設置場所	米の山B2
----	-------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値		
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V		
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V		
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	DC 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	DC 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3	DC 4V	(+3.80~+4.20)	V				
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	DC 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	DC 24V	(+21.60~+26.40)	V	
			充電時	DC 27V	(+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				

【備考】

品名	A型表示機	設置場所	米の山AD
----	-------	------	-------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。		
2	電源電圧等の確認	項目	規格		測定値
		入力電圧	AC100/200V	(90~110)	V
				(90~110)	V
				(180~220)	V
		制御電圧	AC 100V	(90~110)	V
			DC 5V	(+4.75~+5.25)	V
			DC 12V	(+11.40~+12.60)	V
			DC-12V	(-11.40~-12.60)	V
			DC 12V(IF)	(+11.40~+12.60)	V
		ファン	DC 24V	(+22.80~+25.20)	V
表示部電圧	DC 3.3V	(+3.20~+3.39)	V		
	DC 4.0V	(+3.88~+4.12)	V		
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm
4	蓄電池の確認	バッテリー 電圧	放電時	DC 24V (+21.60~+26.40)	V
			充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。		
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。		
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼:輝度高、夜:輝度低)		
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。		
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)		
停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。					
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。		
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品名	気象観測処理設備	設置場所	赤崎3号橋観測局
----	----------	------	----------

※処理装置、動作監視装置、雨量計、温度計、路面温度計、路面凍結検知装置

No.	点検項目	確認方法又は測定値		判定	
		項目	規格		測定値
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC200V (180~220)	V	
		処理部電圧	DC 5V (+4.75~+5.25)	V	
			DC 12V (+11.40~+12.60)	V	
			DC 15V (+14.25~+15.75)	V	
			DC-15V (-14.25~-15.75)	V	
2	モニタ監視機能	気温	・通風式気温計により、気温を表示できること。		
		路面温度(1)	・路面放射温度計により、路面温度を表示できること。		
		路面状態	・路面反射比率計により、路面状態を判別し表示できること。		
		路面温度(2)	・路面温度計(埋め込み式)により、路面温度を表示できること。		
		雨量	・日積算雨量を表示できること。		
3	構造部の確認	気温計	・通風用モータの異常音及び振動がないこと。		
		路面放射温度計	・破損、錆等がないこと。 ・路面反射比率計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路面反射比率計	・破損、錆等がないこと。 ・路面放射温度計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路温計	・埋め込み場所の表面に物がないこと。 ・アスファルトに破損がないこと。		
		雨量計	・受水口、漏水器、転倒ます、軸受けにゴミがつかまっていないこと。 ・雨水が漏尺下口から正しく転倒ますに入ること。		
4	据付状態の確認	各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
5	接続部の確認	各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	機器本体の清掃等	各機器の機器本体の内外面を清掃する。			

【備考】

品名	風向風速計	設置場所	倉江大橋観測局
----	-------	------	---------

No.	点検項目		確認方法又は測定値		判定
	項目	規格	測定値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作の確認		各気象センサーから出力されるデータを計装信号に変換できること。		
3	モニタ監視機能	風向風速	・平均風速及び外部出力電圧を表示できること。 ・風向の16方位、角度及び外部出力電圧を表示できること。		
		最大風速	・最大風速及び外部出力電圧を表示できること。		
3	構造部の確認	風向風速計	・破損、錆等がないこと。		
4	据付状態の確認		各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		各機器の機器本体の内外面を清掃する。		

【備考】

品 名	遠方監視制御装置親局	設置場所	管理事務所通信機械室
-----	------------	------	------------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定	
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧測定	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
		制御電圧	D C 24 V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	送信レベル	(-10dBm~-24dBm)	d B	
		受信レベル	(0dBm~-43dBm)	d B	
3	動作の確認	システムの保存	外部媒体に現状のシステムを保存する。		
	動作状態の確認	装置稼働表示 L E D の点灯状態を確認する。			
4	内部点検	端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。			
		パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。			
		プリント基板の緩み等の有無を確認する。			
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。			
		スイッチ等の機能を確認する。			
5	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。			
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。			
6	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備 考】

品 名	処理装置 「J529FA」	設置場所	松島道路管理事務所
-----	---------------	------	-----------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN

No.	点 検 項 目	確 認 箇 所	判 定	
1	機能確認	本体各部の動作テストを行う。	a) CPU	
			b) MEMORY	
			c) DISPLAY	
			d) KEYBOARD	
			e) MOUSE	
			f) HDD	
			g) FDD	
			h) CD-ROM	
			i) MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。		
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。		
		Server Viewにてエラーログを参照する。		
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
		スイッチ等の機能を確認する。		
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備 考】

品 名	処理装置 「J529FA」	設置場所	天草広域本部3階
-----	---------------	------	----------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN

No.	点 検 項 目	確 認 箇 所	判 定	
1	機能確認	本体各部の動作テストを行う。	a) CPU	
			b) MEMORY	
			c) DISPLAY	
			d) KEYBOARD	
			e) MOUSE	
			f) HDD	
			g) FDD	
			h) CD-ROM	
			i) MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。		
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。		
		ServerViewにてエラーログを参照する。		
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
		スイッチ等の機能を確認する。		
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。		

【備 考】

品 名	主制御装置	設置場所	登立トンネル
-----	-------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100 V (90~110)		V		
		制御電圧	PS1	D C 5 V (+4.75~+5.25)		V	
				D C 12 V (+11.40~+12.60)		V	
				D C -12 V (-11.40~-12.60)		V	
				D C 24 V (1 F) (+22.80~+25.20)		V	
		表示電圧	PS2	D C 24 V (+22.80~+25.20)		V	
			PS3	D C 16 V (+15.20~+16.80)		V	
		PS4	D C 10 V (+9.50~+10.5)		V		
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24 V (+23.50~+26.40)	V		
		充電時	D C 27 V (+24.30~+29.70)	V			
4	動作の確認	機側操作		主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御 (1)		副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御 (2)		処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作		昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作		試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作		回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能		雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
通話試験		制御装置と受信制御装置間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。					
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。				
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	主制御装置（機側操作盤）	設置場所	登立トンネル
-----	--------------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC 415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC 100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC 100V (90~110)	V	
		非常電話電源	AC 200V (180~220)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時 DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
		充電時	DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

--	--	--	--	--	--

品 名	副制御装置	設置場所	有明トンネル
-----	-------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示部の確認		表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100 V (90~110)		V		
		制御電圧	PS1	D C 5 V (+4.75~+5.25)		V	
				D C 12 V (+11.40~+12.60)		V	
				D C -12 V (-11.40~-12.60)		V	
				D C 24 V (1 F) (+22.80~+25.20)		V	
		表示電圧	PS2	D C 24 V (+22.80~+25.20)		V	
			PS3	D C 16 V (+15.20~+16.80)		V	
		PS4	D C 10 V (+9.50~+10.5)		V		
3	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24 V (+21.60~+26.40)	V		
		充電時	D C 27 V (+24.30~+29.70)	V			
4	動作の確認	機側操作		副制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御 (1)		主制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		遠方制御 (2)		処理装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
		調光動作		昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
		解除動作		試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
		故障表示動作		回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
		雷サージ保護機能		雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
通話試験		制御装置と受信制御装置間及び制御装置と制御装置 (TMC1) 間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。					
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
6	絶縁抵抗の確認		絶縁抵抗を確認する。				
7	接地抵抗の確認		接地抵抗を確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	副制御装置（機側操作盤）	設置場所	登立トンネル
-----	--------------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC 415V (373~456)	V	
		警報板電圧	AC 100V (90~110)	V	
		赤色灯電圧	AC 100V (90~110)	V	
2	蓄電池の確認	バッテリー電圧	DC 24V (+23.50~+26.40)	V	
			DC 27V (+24.30~+29.70)	V	
3	動作の確認	制御動作試験	主制御装置動作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		停電時動作試験	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
6	機器の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品 名	表示警報板（主制御装置側）	設置場所	登立トンネル
-----	---------------	------	--------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値	判 定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	主制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備 考】

品 名	表示警報板（副制御装置側）	設置場所	登立トンネル
-----	---------------	------	--------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値	判 定
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを確認する。	
2	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく、表示情報が判読できることを確認する。	
3	動作の確認	副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。	
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。	
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。	
6	表示部の汚損状態確認	表示部が明瞭に判読できることを確認する。	
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備 考】

品 名	押ボタン発信器	設置場所	トンネル内
-----	---------	------	-------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定	
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		別紙参照	
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値
	入力電圧測定	AC100V	(90~110)		別紙参照
3	絶縁抵抗の確認	押ボタン回路の絶縁抵抗を確認する。			別紙参照
4	フレキシガラスの破損等の確認	フレキシガラスの破損、変形、脱落等の有無を確認する。			
5	消火器の確認	消火器本体、安全栓、ホース等の外観を確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備 考】

品 名	非常電話機	設置場所	トンネル内・明かり部
-----	-------	------	------------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値	判 定
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。	別紙参照
2	通話試験	発信音を確認する。	
3	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
4	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備 考】

非常電話 点検チェックシート（明かり部）

項目 地点	①	②	③	④	備 考
明かり部 1					
明かり部 2					
明かり部 3					
明かり部 4					
明かり部 5					
明かり部 6					
明かり部 7					
明かり部 8					
明かり部 9					
明かり部 10					
【備 考】					

非常電話 点検チェックシート (トンネル)

項目 地点	①	②	③	④	備 考
登立トンネル					
TR-1					
TR-2					
TL-1					
TL-2					
TL-3					
【備 考】					

品 名	子局	設置場所	登立トンネル
-----	----	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
		制御部電圧	D C 24 V (+22.80~+25.20)	V	
			D C 24 V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -24dBm~0dBm	dBm	
		受信レベル -43dBm~0dBm	dBm		
3	動作状態の確認	監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。			
4	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
5	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備 考】

品 名	無停電電源装置	設置場所	登立トンネル
-----	---------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
2	動作状態の確認		装置稼働表示 L E D の点灯状態を確認する。		
3	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品 名	主制御装置	設置場所	管理事務所通信機械室
-----	-------	------	------------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
		制御電圧	D C 5 V (+4.75~+5.25)	V	
			D C 12 V (+11.40~+12.60)	V	
			D C -12 V (-11.40~-12.60)	V	
2	送受信信号出力の確認	送信レベル	-15dBm~0dBm		
			一般加入用	dBm	
			専用線用	dBm	
		受信レベル	-35dBm~0dBm		
			登立 1	dBm	
			登立 2	dBm	
			みすみ 3	dBm	
				dBm	
3	動作試験	表示制御	表示機毎に表示制御を行い、操作機にて任意に設定した情報が表示機に表示され、その結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		消滅制御	表示機毎に消滅制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ（故障・表示異常・停電・話中）が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
4	停電動作の確認	表示板を停電にし、主制御装置からの表示制御の受信と復電後の表示項目が正常であることを確認する。			
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備 考】

品 名	B型表示機	設置場所	登立 1
-----	-------	------	------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値	
		入力電圧	A C 100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V	
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V	
			D C 12V ((+11.40~+12.60)	V	
			PS1 D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2 D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3 D C 4V	(+3.80~+4.20)	V				
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V			
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24V (+21.60~+26.40)	V	
			充電時	D C 27V (+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認		機側操作		機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。	
			遠隔操作		主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。	
			調光動作		表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)	
			照合動作		表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。	
			停電動作		停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯) 停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。	
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			
【備 考】						

品 名	B型表示機	設置場所	登立 1
-----	-------	------	------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値	
		入力電圧	A C 100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V	
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V	
			D C 12V ((+11.40~+12.60)	V	
			PS1 D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2 D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3 D C 4V	(+3.80~+4.20)	V				
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V			
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24V (+21.60~+26.40)	V	
			充電時	D C 27V (+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)			
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。			
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)			
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。			
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			
【備 考】						

品 名	B型表示機	設置場所	登立 1
-----	-------	------	------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定	
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。			
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値	
		入力電圧	A C 100/200V	(90~110)	V	
				(90~110)	V	
				(180~220)	V	
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V	
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V	
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V	
			D C 12V ((+11.40~+12.60)	V	
			PS1 D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2 D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3 D C 4V	(+3.80~+4.20)	V				
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V			
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V			
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm	
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24V (+21.60~+26.40)	V	
			充電時	D C 27V (+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。			
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。			
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)			
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。			
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)			
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。			
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。			
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。			
【備 考】						

品 名	気象観測処理設備	設置場所	登立観測局
-----	----------	------	-------

※処理装置、動作監視装置、雨量計、温度計、路面温度計

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 200 V (180~220)	V	
		処理部電圧	D C 5 V (+4.75~+5.25)	V	
			D C 12 V (+11.40~+12.60)	V	
			D C 15 V (+14.25~+15.75)	V	
			D C -15 V (-14.25~-15.75)	V	
2	モニタ監視機能	気温	・通風式気温計により、気温を表示できること。		
		路面温度(1)	・路面放射温度計により、路面温度を表示できること。		
		路面状態	・路面反射比率計により、路面状態を判別し表示できること。		
		路面温度(2)	・路面温度計(埋め込み式)により、路面温度を表示できること。		
		雨量	・日積算雨量を表示できること。		
3	構造部の確認	気温計	・通風用モータの異常音及び振動がないこと。		
		路面放射温度計	・破損、錆等がないこと。 ・路面反射比率計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路面反射比率計	・破損、錆等がないこと。 ・路面放射温度計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路温計	・埋め込み場所の表面に物がないこと。 ・アスファルトに破損がないこと。		
		雨量計	・受水口、漏水器、転倒ます、軸受けにゴミがつかっていないこと。 ・雨水が漏尺下口から正しく転倒ますに入ること。		
4	据付状態の確認	各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
5	接続部の確認	各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
6	機器本体の清掃等	各機器の機器本体の内外面を清掃する。			
【備 考】					

品 名	風向風速計	設置場所	天城橋観測局
-----	-------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作の確認		各気象センサーから出力されるデータを計装信号に変換できること。		
3	モニタ監視機能	風向風速	・平均風速及び外部出力電圧を表示できること。 ・風向の16方位、角度及び外部出力電圧を表示できること。		
		最大風速	・最大風速及び外部出力電圧を表示できること。		
3	構造部の確認	風向風速計	・破損、錆等がないこと。		
4	据付状態の確認		各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		各機器の機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品 名	遠方監視制御装置親局	設置場所	管理事務所通信機械室
-----	------------	------	------------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧測定	入力電圧	A C 100V (90~110)	V	
		制御電圧	D C 24V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル (-10dBm~-24dBm)	d B	
			受信レベル (0dBm~-43dBm)	d B	
3	動作の確認	システムの保存	外部媒体に現状のシステムを保存する。		
		動作状態の確認	装置稼働表示LEDの点灯状態を確認する。		
4	内部点検		端子の緩み加熱等異常の有無を確認する。		
			パネルの変形、取付部の緩み等の有無を確認する。		
			プリント基板の緩み等の有無を確認する。		
			ユニット類の緩み等の有無を確認する。		
			スイッチ等の機能を確認する。		
			冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。		
5	外部点検		汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。		
			接栓及び接栓座の緩みを確認する。		
6	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。			

【備 考】

品名	処理装置 「J529FA」	設置場所	松島道路管理事務所
----	---------------	------	-----------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN含

No.	点検項目	確認箇所	判定
1	機能確認	a) CPU	
		b) MEMORY	
		c) DISPLAY	
		d) KEYBOARD	
		e) MOUSE	
		f) HDD	
		g) FDD	
		h) CD-ROM	
		i) MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。	
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。	
		ServerViewにてエラーログを参照する。	
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。	
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。	
		スイッチ等の機能を確認する。	
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。	
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。	
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。	
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。	

【備考】

品 名	処理装置 「J529FA」	設置場所	天草広域本部3階
-----	---------------	------	----------

※液晶ディスプレイ、光磁気ディスク装置、LAN含

No.	点 検 項 目	確 認 箇 所	判 定
1	機能確認	a) CPU	
		b) MEMORY	
		c) DISPLAY	
		d) KEYBOARD	
		e) MOUSE	
		f) HDD	
		g) FDD	
		h) CD-ROM	
		i) MO	
2	状態確認	本体装置のLEDの状態、各デバイスのアクセスランプを確認する。	
3	ログ確認	イベントビューアにてシステムログを参照する。	
		ServerViewにてエラーログを参照する。	
3	内部点検	プリント基板の緩み等の有無を確認する。	
		ユニット類の緩み等の有無を確認する。	
		スイッチ等の機能を確認する。	
		冷却ファンの異常及び異音の有無を確認する。	
4	外部点検	汚損、塗装の脱落、発錆の有無を確認する。	
		接栓及び接栓座の緩みを確認する。	
5	清掃	筐体内外部の清掃を実施する。	

【備 考】

品 名	非常電話機	設置場所	トンネル内・明かり部
-----	-------	------	------------

No.	点 検 項 目	確 認 方 法 又 は 測 定 値	判 定
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。	別紙参照
2	通話試験	発信音を確認する。	
3	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
4	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	

【備 考】

非常電話 点検チェックシート（明かり部）

項目 地点	①	②	③	④	備 考
明かり部 1					
明かり部 2					
【備 考】					

品 名	子局	設置場所	登立トンネル
-----	----	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
		制御部電圧	D C 24 V (+22.80~+25.20)	V	
			D C 24 V (+22.80~+25.20)	V	
2	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル -24dBm~0dBm	dBm	
			受信レベル -43dBm~0dBm	dBm	
3	動作状態の確認		監視表示部モニターランプ球切れの有無を確認する。		
4	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品 名	無停電電源装置	設置場所	登立トンネル
-----	---------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100 V (90~110)	V	
2	動作状態の確認		装置稼働表示 L E D の点灯状態を確認する。		
3	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
4	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
5	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】

品 名	主制御装置	設置場所	管理事務所通信機械室
-----	-------	------	------------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目	規 格	測 定 値		
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 100V (90~110)	V	
		制御電圧	D C 5V (+4.75~+5.25)	V	
			D C 12V (+11.40~+12.60)	V	
			D C -12V (-11.40~-12.60)	V	
2	送受信信号出力の確認	送信レベル	-15dBm~0dBm		
			一般加入用	dBm	
			専用線用	dBm	
		受信レベル	-35dBm~0dBm		
			登立 1	dBm	
			登立 2	dBm	
			みすみ 3	dBm	
				dBm	
				dBm	
3	動作試験	表示制御	表示機毎に表示制御を行い、操作機にて任意に設定した情報が表示機に表示され、その結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		消滅制御	表示機毎に消滅制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		照合制御	表示機毎に照合制御ができ、結果を操作機画面に表示できることを確認する。		
		状態監視	表示機毎に照合制御を実施し、照合データ（故障・表示異常・停電・話中）が誤りなく操作機画面に表示される事を確認する。		
4	停電動作の確認	表示板を停電にし、主制御装置からの表示制御の受信と復電後の表示項目が正常であることを確認する。			
5	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

【備 考】

品 名	B型表示機	設置場所	本渡港 1
-----	-------	------	-------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100/200 V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V		
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V		
			D C 12V (I	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3	D C 4V		(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24V (+21.60~+26.40)	V		
			充電時	D C 27V (+24.30~+29.70)	V		
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯) 停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	B型表示機	設置場所	本渡港 2
-----	-------	------	-------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100/200 V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V		
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V		
			D C 12V (I	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3	D C 4V		(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー電圧	放電時	D C 24V (+21.60~+26.40)	V		
			充電時	D C 27V (+24.30~+29.70)	V		
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	B型表示機	設置場所	本渡港3
-----	-------	------	------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100/200 V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V		
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V		
			D C 12V (I	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3	D C 4V		(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー	放電時	D C 24V	(+21.60~+26.40)	V	
		電圧	充電時	D C 27V	(+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	B型表示機	設置場所	瀬戸 4
-----	-------	------	------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100/200 V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V		
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V		
			D C 12V (I	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
PS3	D C 4V		(+3.80~+4.20)	V			
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー 電圧	放電時	D C 24V	(+21.60~+26.40)	V	
			充電時	D C 27V	(+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯) 停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	B型表示機	設置場所	瀬戸5
-----	-------	------	-----

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定		
1	表示板の表示部の確認		表示部を確認し、不良の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。				
2	電源電圧等の確認	項 目	規 格		測 定 値		
		入力電圧	A C 100/200 V	(90~110)	V		
				(90~110)	V		
				(180~220)	V		
		制御電圧	A C 100V	(90~110)	V		
			D C 5V	(+4.75~+5.25)	V		
			D C 12V	(+11.40~+12.60)	V		
			D C -12V	(-11.40~-12.60)	V		
			D C 12V (I	(+11.40~+12.60)	V		
			PS1	D C 24V	(+22.80~+25.20)	V	
			PS2	D C 5V	(+4.75~+5.25)	V	
			PS3	D C 4V	(+3.80~+4.20)	V	
表示部電圧	D C 3.3V	(+3.20~+3.39)	V				
	D C 4.0V	(+3.88~+4.12)	V				
3	送受信信号出力の確認	レベル測定	送信レベル	-15dBm~0dBm	dBm		
			受信レベル	-35dBm~0dBm	dBm		
4	蓄電池の確認	バッテリー 電圧	放電時	D C 24V	(+21.60~+26.40)	V	
			充電時	D C 27V	(+24.30~+29.70)	V	
5	見え方確認		表示板前方から表示情報が判読できるか確認する。				
6	動作確認	機側操作	機側操作盤から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		遠隔操作	主制御装置から表示項目を起動し、表示板が正常に動作することを確認する。				
		調光動作	表示部の自動と手動による調光動作が正常に動作することを確認する。(昼：輝度高、夜：輝度低)				
		照合動作	表示板にて状態変化(故障・表示異常・停電・話中)を発生させ主制御装置から照合制御し、照合データが誤りなく返送されることを確認する。				
		停電動作	停電発生時、事前の表示状態を保持することを確認する。(表示は滅灯)				
			停電時に1回の表示更新又は照合制御が3回以上可能であることを確認する。				
7	通話試験		通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のない程度であることを確認する。				
8	据付状態の確認		据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。				
9	接続部の確認		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
10	機器本体の清掃等		機器本体の内外面を清掃する。				
【備 考】							

品 名	気象観測処理設備	設置場所	天草未来大橋観測局
-----	----------	------	-----------

※処理装置、動作監視装置、雨量計、温度計、路面温度計

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
		項 目	規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	A C 200 V (180~220)	V	
		処理部電圧	D C 5 V (+4.75~+5.25)	V	
			D C 12 V (+11.40~+12.60)	V	
			D C 15 V (+14.25~+15.75)	V	
			D C -15 V (-14.25~-15.75)	V	
2	モニタ監視機能	気温	・通風式気温計により、気温を表示できること。		
		路面温度(1)	・路面放射温度計により、路面温度を表示できること。		
		路面状態	・路面反射比率計により、路面状態を判別し表示できること。		
		路面温度(2)	・路面温度計(埋め込み式)により、路面温度を表示できること。		
		雨量	・日積算雨量を表示できること。		
3	構造部の確認	気温計	・通風用モータの異常音及び振動がないこと。		
		路面放射温度計	・破損、錆等がないこと。 ・路面反射比率計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路面反射比率計	・破損、錆等がないこと。 ・路面放射温度計測定箇所と同様の箇所を測定していること。		
		路温計	・埋め込み場所の表面に物がないこと。 ・アスファルトに破損がないこと。		
		雨量計	・受水口、漏水器、転倒ます、軸受けにゴミがつかっていないこと。 ・雨水が漏尺下口から正しく転倒ますに入ること。		
4	据付状態の確認		各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		各機器の機器本体の内外面を清掃する。		
【備 考】					

品 名	風向風速計	設置場所	天草未来大橋
-----	-------	------	--------

No.	点 検 項 目		確 認 方 法 又 は 測 定 値		判 定
	項 目		規 格	測 定 値	
1	電源電圧等の確認	入力電圧	AC100V (90~110)	V	
2	動作の確認		各気象センサーから出力されるデータを計装信号に変換できること。		
3	モニタ監視機能	風向風速	<ul style="list-style-type: none"> 平均風速及び外部出力電圧を表示できること。 風向の16方位、角度及び外部出力電圧を表示できること。 		
		最大風速	<ul style="list-style-type: none"> 最大風速及び外部出力電圧を表示できること。 		
3	構造部の確認	風向風速計	<ul style="list-style-type: none"> 破損、錆等がないこと。 		
4	据付状態の確認		各機器の据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		
5	接続部の確認		各機器の接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
6	機器本体の清掃等		各機器の機器本体の内外面を清掃する。		

【備 考】